



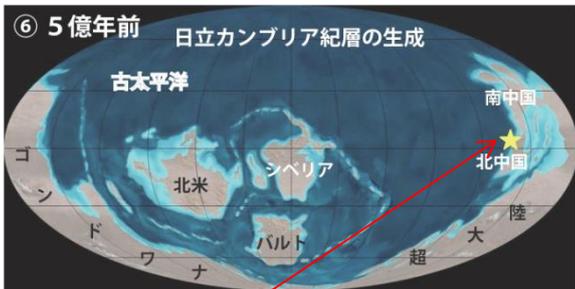
## 理数アカデミー特別授業・シビックセンター科学館での体験学習

1月15日(日)、日立シビックセンター科学館での特別授業を紹介します。24名の受講生が参加し、2グループに分かれ、視聴覚センター・映像セミナー室と科学館・オリエンテーションルームを活用して行われました。

○ 映像による「5億年前の日立の地層を探る」 講師 茨大名誉教授 田切美智雄先生

- ・カンブリア紀ってどんな時代
- ・カンブリア紀に生きた不思議な生き物

「5億年前の日立の地層を探る」では、日立市の多賀山地には広くカンブリア紀の地層があり、2008年に放射年代によってカンブリア紀とわかったことや、この地層は日本最古の地層であるため、日本列島の始まりの様子を示してくれる貴重な地層



### 5億年前…日立カンブリア紀層の生成

前後や上下が何度も修正されているという話に、受講生たちは、とても奇妙な形の動物たちに興味を示していました。現在、日立のカンブリア紀層の中からは、海綿動物と思われる組織と放散虫と思われる組織、有孔虫と思われる組織が見つかっていて、古生物学者の研究を待っている状態だそうです。田切先生の学説がきちんと裏付けされるような化石が発見されることを期待したいですね。

元は難しく、ハルキゲニアのように



○ 科学館の学習プログラム・体験学習 講師 科学館職員  
・おどろきエアパワー

科学館の学習プログラムは、市内の小学校4年生を対象にしたラーニングコース「おどろきエアパワー」です。理数アカデミーの受講生にレベルを上げての学習内容でしたが、受講生たちには少し易しかったようです。それでも、ラップで閉じた容器内の空気を抜く実験でのものすごい破裂音、掃除機で空気を吸い上げた時のボウリング球の浮く様子などに、驚きの様子が見られました。空気の力を再確認したようです。最後に、光の点がおもしろい形に見える装置ホロスペックスコープを作って、蛍光灯の光を覗いていました。



体験学習が終わった後、一人の受講生が講師の先生に質問をしている様子があり、岩石や地層にとっても興味を持っているということでした。田切先生は、現在、日立郷土博物館に勤務していることを伝え、夏休み等を活用して田切先生から直接話が伺えることを伝え、とてもうれしそうな顔をしていました。理数アカデミーは物理・化学や数学が中心です。地学に関心の高い受講生もいることを知り、田切先生も喜んでいました。特別授業の1つの成果になるといいですね。

